

3類型	鋳工業品及びその生産技術	通巻番号	8-19-005
地域資源名	伊万里・有田焼	認定日	平成19年10月12日
地域	佐賀県有田町	所管省庁	経済産業省

事業名： 世界初！磁器製万年筆等の有田焼高付加価値商品開発及び販売

会社名：有限会社佐賀ダンボール商会

所在地：佐賀県西松浦郡有田町中部丙
2702-1

連絡先：TEL：0955(43)2424

FAX：0955(43)2425

H P：http://www.arita-mangekyo.jp/index.html

事業概要(新たな活用の視点)

- ・産地・地域の現状と課題 ・事業着手の経緯
和食器等の有田焼陶磁器は、1990年をピークに不況や安価な中国製品の輸入激増で厳しい状況。有田焼ダンボールケース製造の(有)佐賀ダンボール商会では、有田焼の高い技術に着目。窯元との協力の下に、市場ニーズに対応した商品のデザインと企画開発に着手した。
- ・地域資源の強みと新たな活用視点の導入
陶磁器製品と万年筆金具・部品との組合せには高い精度が要求されるが、有田焼万華鏡の製作技術をベースに、焼成、陶土に工夫を加え、緻密な製作技術の完成を見た。
- ・その他
有田焼万年筆の開発・販売では、大手万年筆メーカーや大手文具店との協力関係を構築し、商品の開発・評価と販路開拓を推進しているところである。



【有田焼万華鏡】



【世界初！有田焼万年筆】



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

- ◆競争力
- ・新商品、新サービスのコンセプト
陶磁器製万年筆は、これまでにない商品であり、伝統技術を活用した“持つ喜び”を満たす高付加価値品である。
- ・競合製品との優位性
陶磁器製の万年筆は、世界初・オンリーワン。
- ◆市場性
高級万年筆への需要は着実に拡大。3億円の市場を狙う。
- ◆販路
自社直販及び大手万年筆メーカー、大手文具店を通じた販路開拓。さらには、輸出を目指す。

地域資源における関係事業者との連携、等

- ・窯元(香蘭社、源右衛門窯)、佐賀県窯業技術センター、有田商工会議所、佐賀県中小企業団体中央会、他と連携。
- ・将来的には有田焼万年筆に続く「有田焼ウオッチ」等の開発で伝統技術の伝承と高度化を目指す。